

1. 件名：「トランスニュークリア株式会社による使用済燃料貯蔵施設に係る特定容器等の設計の型式証明申請に関するヒアリング（２）」

2. 日時：令和３年６月１日（火）１６時１５分～１７時３０分

3. 場所：原子力規制庁 １０階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者：

原子力規制庁

原子力規制部 核燃料施設審査部門

石井企画調査官、上石安全審査官、尾崎安全審査専門職、田口安全審査専門職、赤石原子力規制専門員

技術基盤グループ 核燃料廃棄物研究部門

福田技術研究調査官

トランスニュークリア株式会社

最高技術責任者 他４名

株式会社神戸製鋼所

技術部 キャスク技術室 室長 他３名

5. 要旨：

（１）トランスニュークリア株式会社（以下「申請者」という。）より、当日提出資料及び５月２５日提出資料（※）に基づき前回審査会合（令和２年１２月２４日）での指摘事項のうち、設計貯蔵期間におけるマグネシウムの固溶強化機構の維持に関する追加試験の結果等について説明があった。

（２）原子力規制庁より、次回審査会合では、追加試験の目的、試験結果から明らかになったことが明確となるよう整理したうえで、適切に説明するよう求めた。

（３）申請者から、本日のヒアリングを踏まえて対応する旨の発言があった。

6. その他：

資料１ TK-26型キャスク型式証明 ほう素添加アルミニウム合金の説明方針について

参考

※ 令和３年５月２５日「トランスニュークリア株式会社による使用済燃料貯蔵施設に係る特定容器等の設計の型式証明申請に関する資料提出」